

参 考 资 料

目 次

- 札幌市記者発表資料「路面電車の運賃変更認可申請についてのお知らせ」（平成28年11月9日）
..... 1

- 国土交通省記者発表資料「札幌市の軌道事業の旅客運賃変更認可申請に関するパブリックコメントについて」（平成28年11月10日）
..... 6

報道機関各位

平成28年11月9日

札幌市交通局

路面電車の運賃変更認可申請についてのお知らせ

日頃より、市営交通をご利用いただき誠にありがとうございます。

札幌市では、市議会に対し路面電車の乗車料金の条例改正案を提出し、平成28年10月31日に可決したことから、本日、国土交通大臣に対し、路面電車の運賃の変更認可申請を行いました。なお、改定する運賃については、認可を受けたのちに改めてお知らせいたします。

路面電車をご利用のお客様にはご負担をおかけしますが、何とぞご理解をお願いいたします。

1. 申請の内容

(1) 申請理由

札幌市の路面電車の運賃は、平成26年4月の消費税率改定に伴い、同年10月に普通運賃を除き定期運賃などへの転嫁を行いましたが、平成4年4月以降、本格的な運賃改定は見送ってきたところです。

この間、札幌市では、乗車人員の減少傾向が続き、経営状況の悪化が見込まれたことから、平成13年より、路面電車のあり方などの存廃議論を行ってきたところであり、その方向性について広く市民議論などを行い、平成17年には、市民の意向や路面電車が持つ人や環境に優しい特性、都心のまちづくりへの寄与の可能性などを踏まえ、存続を決定しました。

その後、「札幌市路面電車活用計画 ループ化編」（平成24年）を策定し、「札幌市軌道運送高度化実施計画」（平成25年）の認定を受けるなど、路面電車を活用したまちづくりを進めているところです。

これらの計画等に沿って、平成27年12月には、営業路線を延長するループ化部分（都心線：0.4km）を開業したほか、新型低床車両の導入（3両）など、利便性、快適性の向上を図ったところであり、今後も低床車両の増強や停留場のバリアフリー化などを進めてまいりたいと考えております。

また、これらの整備を進めていく一方で、路線のループ化や運行情報システム導入等による修繕・保守費などサービス水準の維持に要する費用や動力費の増加、車両の老朽化対策などに係る費用などの増加も見込まれるほか、路面電車の経営は依然として厳しい状況であり、今後の収支の見通しにおいても現行運賃では収支改善を図ることは困難な状況です。

については、路面電車が、今後も公共交通機関としての役割を担い、経営の安定化を図りつつ、利用者へのサービスや利便性を維持し、さらに向上させるためには、運賃として利用者の方々にご負担いただくことが必要であり、運賃の変更について申請するものでございます。

(2) 申請の概要

ア 運賃(8.9km、均一制)

運賃区分	現行	申請
普通運賃(大人)	170円	200円
通勤定期1か月	7,550円	8,040円
通学定期1か月(大人)	5,250円	5,760円

イ 定期運賃割引率

通勤 33.0% (現行 26.0%)

通学(大人) 52.0% (現行 48.5%)

(3) 実施予定日

平成29年4月1日

(4) 増収率

		増収率
定期外		17.5%
定期	通勤	6.5%
	通学	9.7%
	計	7.2%
合計		15.9%

2. 軌道部門収支実績及び推定

(単位:百万円)

	平成27年度 (実績)	平成29年度~平成31年度	
		現行	申請
収入	1,231	3,777	4,314
支出	1,349	4,361	4,362
差引	△118	△584	△48
収支率	91.2%	86.6%	98.9%

3. 運賃収入内訳

(単位:百万円)

	平成27年度 (実績)	平成29年度~平成31年度	
		現行	申請
定期外	974	2,839	3,336
定期	133	545	585
合計	1,107	3,384	3,921

4. 需要見通し

(単位：千人)

項目	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (推定)	平成29年度 (推定)	平成30年度 (推定)	平成31年度 (推定)
定期外	7,031	6,968	7,038	6,893	6,812	6,723	6,651
定期	通勤	651	797	897	1,023	1,126	1,230
	通学	326	372	400	448	482	515
	計	977	1,169	1,297	1,471	1,608	1,745
合計	8,008	8,137	8,335	8,364	8,420	8,468	8,538
対前年度比	103.7%	101.6%	102.4%	100.3%	100.7%	100.6%	100.8%

5. 設備投資実績・計画

(1) 設備投資実績と計画

(単位：百万円)

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (計画)	平成29年度 (計画)	平成30年度 (計画)	平成31年度 (計画)
安全対策	745	274	47	173	173	760	1,420
サービス改善等	366	1,040	1,930	523	829	669	378
合計	1,111	1,314	1,977	696	1,002	1,429	1,798

※ 補助金を財源とする設備投資を含む。

(2) 主要プロジェクトの内容（企業債を財源とする設備投資）

ア 既設停留場のバリアフリー化

- ・目的 高齢者などの利便性向上のため、既設停留場の嵩上げ及びスロープ設置による改修を進めます。
- ・効果 公共交通による移動の円滑化を目指します。
- ・金額 456 百万円
- ・改修停留場 平成29年度：4停留場、7面
平成30年度：8停留場、16面

イ 車両車体艤装改修

- ・目的 新型車両への更新まで使用が見込まれる既存車両について、経年劣化による破損、損傷箇所及び内外装の改修を行います。
- ・効果 車両故障等を未然に防ぎ、安全運行を継続します。
- ・金額 248 百万円
- ・改修車両 平成29年度：2台
平成30年度：2台
平成31年度：2台

ウ 除雪車両製造

- ・目的 除雪車両について、老朽化が著しいことから、新造し更新します。
- ・効果 冬期間（積雪時）の線路の安全確保に努めます。
- ・金額 182 百万円
- ・更新車両 平成 30 年度：1 台

6. これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

点検整備業務、定期検査業務等の委託化により、技術部門職員を削減するとともに、運転手の退職に伴う職員の補充については、非常勤職員（運転手）の活用による経営の効率化に取り組んでおり、今後も委託業務の継続、非常勤職員の活用を行います。

7. 運賃の多様化の内容

好評をいただいている企画商品一覧

(1) どサンコパス（路面電車専用 1 日乗車券）

土曜、日曜、祝日及び年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日）に、大人 1 名とこども 1 名が路面電車を 1 日中、何回でも乗車できます。

(2) 貸切電車

宴会やパーティーなど様々な目的に使用でき、1 周 1 時間の道りを路面電車ならではの情景とともに、家族や仲間と楽しいひと時を満喫することができます。

(3) ホリデーテーリングパス（路面電車専用こども 1 日乗車券）

ホリデーテーリング（スタンプラリー）実施期間中（例年、7 月中旬から 10 月末までの土曜、日曜、祝日及び夏休み期間中は毎日）に使用できるホリデーテーリング参加者限定の 1 日乗車券です。

8. 利用者サービスの向上策

(1) 新型低床車両の導入及び既設停留場のバリアフリー化

バリアフリー対応で、高齢者をはじめ多くの利用者にとって利便性が向上する新型低床車両をこれまでに 3 両を導入し、今後も老朽化した車両の更新に併せ、計画的な導入を進めるとともに、既設停留場のバリアフリー化を進めてまいります。

(2) 路線のループ化（環状化）

平成 27 年 12 月に路線をループ化する「都心線（西 4 丁目～すすきの間）」を開業し、最短ルートでの移動を可能とするとともに、同区間に新設した狸小路停留場を含む 3 停留場

で、地下鉄駅との乗継割引の範囲拡大により、都心部分の回遊性を高め、利便性の向上を図りました。

(3) ICカード乗車券の導入

平成25年6月にICカード乗車券「SAPICA」（定期外）を導入するとともに、全国相互利用ICカード（定期外）の利用を可能とし、平成26年2月には「SAPICA」による定期券利用を開始しました。

(4) 運行情報等の提供

平成27年4月から、各停留場へ運行情報等をお知らせするモニタを設置するとともに、インターネットを利用した運行情報の配信により、パソコンやスマートフォンなどでの閲覧が可能となり、車いす利用のお客様などには、新型低床車両の運行状況の確認などにご活用いただいております。

(5) 軌道改良（制振軌道化）

老朽化したレールの更新に併せ、本線レールを既設の37kgレールから50kgNレールに交換し重軌条化するとともに、ダブルレール化を進め、振動が抑えられる制振軌道化を図ることで乗り心地を良くし、快適性向上を図ります。

9. 情報へのアクセスについての情報

(1) 運賃改定申請に関する問い合わせ先

・事業推進担当課 TEL 011-896-2706

(2) 運賃、定期運賃、時刻等に関する問い合わせ先

・札幌市交通局案内センター TEL 011-232-2277

営業時間／平日 8:00～20:00 土日祝 10:00～18:00

休業日／年末年始（12月31日～1月3日）

(3) 情報サービスの案内

・札幌市交通局ホームページ

アドレス <http://www.city.sapporo.jp/st/index.html>

<お問い合わせ先>

札幌市交通局

事業管理部 事業推進担当課 (011-896-2706)

田口、長原

北海道運輸局同時配布

平成28年11月10日
鉄道局鉄道事業課
旅客輸送業務監理室

札幌市の軌道事業の旅客運賃変更認可申請に関するパブリックコメントについて

平成28年11月9日付けをもって、札幌市から軌道事業の旅客運賃変更認可申請がありました。当該申請事案について、適正な審査を行うことを目的として、広く利用者から意見を聴くために、下記の要領で御意見を募集いたします。

1. 意見募集対象

札幌市からの軌道事業の旅客運賃変更認可申請書類

2. 資料入手方法

電子政府の総合窓口（e-Gov）（<http://www.e-gov.go.jp/>）の「パブリックコメント（意見募集中案件一覧）」欄に掲載いたします。

3. 意見募集期間

平成28年11月10日（木）から平成28年11月24日（木）まで（必着）

4. 意見提出先・提出方法

e-Govに掲載された意見提出様式にならない、氏名及び住所（法人又は団体の場合は、名称及び所在地）並びに連絡先（電話番号又は電子メールアドレス）を明記の上、次のいずれかの方法で、日本語にて意見を提出してください。

なお、電話による意見の受付は致しかねますので、御了承願います。また、FAXの場合、万が一不具合が生じた場合に対応できない可能性もありますので、①電子メール又は②郵送による意見の提出を推奨します。

①電子メールの場合

電子メールアドレス：hqt-RWBTGS-01@ml.mlit.go.jp

国土交通省鉄道局鉄道事業課旅客輸送業務監理室 意見募集担当 あて

②郵送の場合

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省鉄道局鉄道事業課旅客輸送業務監理室 意見募集担当 あて

③FAXの場合

FAX番号 03-5253-1633

国土交通省鉄道局鉄道事業課旅客輸送業務監理室 意見募集担当 あて

5. 留意事項

氏名（法人又は団体の場合は名称）については、ご意見の内容とともに公表させていただく可能性がありますので、ご承知おきください。公表の際に匿名を希望される場合は、意見提出時にその旨をお書き添えください。

住所、電話番号及び電子メールアドレスについては、意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認のために利用します。

なお、ご意見に対する個別の回答は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

連絡先 国土交通省鉄道局
鉄道事業課旅客輸送業務監理室
宮田、小林、佐藤
TEL:03-5253-8111(内線40642,40634)
TEL:03-5253-8543(直通)